

枝川スタッフが選んだおすすめ本

# 枝川の本棚

★4月のピックアップ★

『だいたいしあわせ』

阿川佐和子/著 晶文社

ISBN: 978-4-7949-7475-4



阿川佐和子



## 一般書

『なくなればいいのに。』

穴沢大輔/著 自由国民社

ISBN: 978-4-426-13115-9

罪について考えたことはありますか。

哲学、信仰、文学。どの分野でも、どうも難しそうで、つい敬遠したくなりますね。

本書は、もっと身近に、『おつりを多くもらう』、『勝手に家系図を作る』など実際にありそうな状況を例にとり、刑法などの法律の視点から、犯罪について具体的に解説します。報道される事件に対する見方が少し変わるかもしれません。

『今日もぼーっと行ってきます』

中島京子/著 KADOKAWA

ISBN: 978-4-04-115971-2

野鳥公園や植物園、水族館などを歩き、その場所の風景や人々の会話を通して、文章からはゆったりとした時間が流れます。

ぼーっとできる場所をひたすら求める筆者の視点を読んでいると、自然と頭や身体がほぐれていくようです。

情報過多な暮らしからは少し距離を置き、日々の忙しさの合間に「ぼーっとする時間」の大切さを感じさせてくれる、お散歩エッセイです。

阿川佐和子さんの、くすっと笑える日常のささやかな出来事や、家族の思い出など、56話からなるエッセイです。完璧にやろうとせずに、「今日はだいたいこんなもんかな」をモットーと決めていることからこのタイトルをつけたという阿川さんの、力の抜けた、明るくユーモアたっぷりの文章が気持ちを和らげてくれます。

どの話にも挿絵が付いていますが、なんと阿川さんご自身が描かれたもので、どこかにだいたいネコがいます。これもまた楽しいですよ！



# 児童書

『はるをみつけたよ』

ひらの えりこ 平野恵理子/さく  
ふくいんかんしょてん 福音館書店

ISBN: 978-4-8340-8907-3

あたたかくなると、まわりのようすも少しずつかわっていきます。

よーく見てみると、春はあちこちかくんぼ。つくしんぼうや小さなお花がかおをだし、ねこはのんびり大あくび。もんしろちょうもとんでいるよ。

いろいろな春を「どこにあるかな？」と、さがしながらよんでみてね。さあ、いくつみつけれられるかな？

3～5歳向け



『銀のゾウと不思議な友だち』

ふじしげ 藤重ヒカル/作 さく こより/絵 え きん ほししや 金の星社

ISBN: 978-4-323-07599-0

4年生のかりんは、教室で銀色のおり紙のゾウを見つけ、それがきっかけでサラという女の子と友だちになります。ところがその日の帰り道、二人は交通事故にあってしまい……。

元気がないとき「だいじょうぶ」と言ってくれる友だちがいたら心強いですね。

春のはじまり、ちょっとドキドキする気もちの中で出会った友だちとのふしぎで心があたたかくなるおはなしです。

小学3～4年生向け



# YA(ヤングアダルト)

『逃げる田中』

石川宏千花/作 小鈴キリカ/絵 光村図書出版

ISBN: 978-4-8138-0683-7



中学1年生の曾我以印（そがいいん）は、何かから逃げているクラスメイトの田中さんが気になって仕方ありません。おじいさんから、犬から、黒ずくめの男から……。全力で逃げる彼女は一体何者なのでしょうか。

友情とも恋愛とも違う、不思議な信頼関係の二人。気になった人は追いかけてみましょう。ほら、また今日も田中さんが逃げている！

中学生向け



枝川図書サービスコーナー

江東区枝川 3-6-16(枝川区民館 1階) 【TEL・FAX】 03-3647-6860

【開館時間】 9時～17時 【休館日】 月曜日・第3金曜日・祝日

2026年4月発行